

親子

Talk

海外体験記

2年 小室 はるか さん

2018年度短期海外研修参加
2019年度長期留学参加外国への憧れから英語学習に力を入れ、
高校生活では英語を話す実践の場を作ってきた。

母 小室 明子 さん

小室さんの
長期留学DATA【期間】 2019年9月～2020年6月
※新型コロナウイルスの影響により、早期帰国。
【留学先】 カナダ（プリティッシュコロンビア）

帰国後、変化したことは？

母：驚いたことに、何に対しても自発的に行動するようになっていました。カナダでは自分のことは自分でする必要があったからか、日本に帰ってきて料理や掃除を習慣的に続けてくれています。

娘：ちょっとだけ自立できたかなと思います。カナダでの生活を通して、親の偉大さを実感しました！

母：分かってくれて嬉しいわ。その後、英語はどう？

娘：やっぱり留学前に比べると、今までよりも英語でコミュニケーションをとれるようになったかな。ALTのフィッシャー先生とも学校で会った時は英語で会話しています。

今後の目標を教えてください！

娘：留学の経験から、改めて自分は海外の文化や、いろんな人と会話することが好きだと分かったので、進路選択や今後の目標に活かしていきたいと思っています。資格試験を受けるなど、これからも英語学習において更なるレベルアップを目指します！

母：好きなことをとことんできるのは学生時代だけです。残りの高校生活も、思いっきり「勉強プラスもうひとつ」に取り組んでほしいですね。

留学での経験が、
私を成長させてくれた

留学を志したきっかけは？

娘：小学5年生の時に外国のアーティストを好きになり、その影響で海外への憧れが強くなっていきました。

母：その頃から「海外に行ってみよう」と話していたよね。中学生になって、「英語学習を究めたいから、ミッションに行きたい」という娘の決意を聞いて頼もしく感じ、留学を応援し始めました。

娘：それまで日本を出たことがなかったので、ミッションに入学してからはまず短期海外研修で2週間カナダに行ったり、英語の習い事に通ったりして、コツコツ長期留学への準備をしていきました。

長期留学中の生活は？

娘：短期海外研修はミッションの友達と一緒に参加できますが、長期留学は一人でした。寂しさはありましたが、たまに日本にいる友達と電話をして、「友達も頑張っているから、私も頑張ろう」と勇気づけられていました。

母：芯の強い子だと思っていたけれど、そういうこともあるよね。私も時折、ホストファミリーとの生活やカナダの文化についてメールで聞くようにしていました。ミッションの先生とも連絡していたよね？

娘：うん。留学担当の先生に月に1回レポートを提出していたから、留学中の様子はミッションにも伝わっていました。



現地の子どもたちとも仲良くなれました。



英語での授業は慣れるまでが大変！

